

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院集中治療室で治療を受ける患者さん・ご家族の皆さんへ

「西部病院救命救急センターICU/HCUへ入室し気管挿管・人工呼吸器装着を受けた

COVID19 症例の抜管後嚥下障害の調査

(1) 研究の目的

新型コロナウイルス肺炎 COVID19 の患者さんでは、重症化すると人工呼吸器や ECMO (エクモ：人工肺とポンプを用いた体外循環回路による治療) での長期間にわたる継続的な治療が必要です。そのため、治療後の合併症の一つである嚥下障害を生じ易くなります。今回、当院でのこのような症例に対する嚥下障害調査を試みます。それにより、早期の治療介入のタイミングを検討し、結果的にその後の全身の機能回復や栄養状態改善が可能と考えます。本研究は聖マリアンナ医科大学生命倫理委員会の承認と学長の許可を得て行います。

(2) 研究の方法：

研究実施期間：承認後～2023年3月31日

対象は2020年12月1日～2021年10月31日に当院救命センターに入院した新型コロナウイルス肺炎 COVID19 の患者さんが対象となります。抽出データとしては患者さんの症例概要として年齢、性別、症例重症度として APACHE-II スコアおよび、SOFA スコア、気管挿管前の P/F ratio、COVID19 治療内容、腹臥位実施症例数、気管挿管人工呼吸器使用期間、抜管後再挿管の有無、合併症の有無、気管切開症例数、ICU 入室期間・全入院期間、退院時転帰、嚥下評価、退院前の最終評価での嚥下状況です。そして、臨床情報についてはカルテより抽出した際に、特定の個人を識別できないよう加工した資料を作成するとともに氏名・患者IDを削除し症例登録番号を新たに付けた状態で解析を行い、公表の際は個人が特定できないようにします。

本調査は純粋な調査研究であり、患者さんへの直接的な介入や侵襲はなく、いかなる利益・不利益も生じません。

(3) 個人情報等の保護について

この研究では個人を特定できるような情報が外に漏れることは一切ありません。

(4) 研究結果の公表について

研究結果は、医学研究雑誌や学会等で発表する予定です。その場合も、個人を特定できる情報は一切含まれませんのでご安心ください。

※この研究の対象となられる方で、ご自分あるいはご家族の情報を登録されたくない場合には、2023年1月31日までに下記連絡先までご連絡下さい。お申し出のあった患者さんの情報は削除し、研究データとして使用することはありません。また、お申し出により何ら不利益を被ることはありません。なお、2023年1月31日までに申し出がなかった場合には、参加を了承し

ていただいたものとさせていただきます。

連絡先 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター
住 所 : 〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1
電 話 : 045-366-1111 (代表)
担当医師 : 永富 彰仁 PHS 8205
対応時間 : 平日(月曜日から金曜日)9時から 17時